

9月末学費滞納調査 全国の運動が世論を動かす！ 東京は70校超 全国で200校超を集約

9月末時点の「経済的理由による中退・学費滞納調査」の締め切りは9月28日(金)、今週末に迫っています。26日(水)時点で、**東京**はすでに過去最高数に近い71校分を集約しています。また、**宮城、長野**でもここ数年の最高校数を上回る数の学校から調査結果が届いています。長野私教連では、信州さらしな全私研の奮闘を契機に、それ以降の街頭署名や教研集会の参加者が増えています。学費滞納調査の校数にもそれが表れています。

青森は県内私学全校を目標に毎回取り組み、今回も目標達成まであとわずかに迫っています。**茨城、愛知**では県内加盟校すべての調査を私教連がていねいに取りまとめています。

この調査は、教育条件を改善するためにも、私学助成の拡充を求めるうえでも、その根拠となる重要なものです。とくに個別事例をていねいに集めることが、生徒や保護者の「実態」を正確に捉えるうえで不可欠です。さらに、未加盟校にも広く協力を呼びかけることで、私教連運動全体の広がりにつながる、まさに「**組合が見える運動**」の一環と言えます。

目標は400校分の調査回収。これは全国の私立高校の約1/3にあたる校数です。調査協力校が増えれば増えるほど、取りまとめたデータや資料の説得力が増します。



大至急、呼びかけ、調査・回収、送信を！

まだ協力依頼や回収の声かけをやり切れていない県は、すぐに県内各学園・各単組に呼びかけてください。急ぎの場合は各学園・各単組から直接全国私教連にファクスやPDFファイル送信してもらってもかまいません。毎回出している加盟校で今回まだ提出していない単組は大至急、調査結果を送ってください。

1校でも多くの学校の調査を集め、その結果を社会に公開し、その力で「私学の無償化」を実現させましょう。

私学助成署名 各県で中間集約始まる 山形 21000 筆 福岡 37000 筆を集約！

私学助成署名の中間集約が各県で始まっています。9月末集約では山形、東京など8都県から報告が届いていますが、このほど福岡からもすでに37000筆を集約したとの報告がありました。

10月末到達点報告が目前に迫っています。各県の集約状況をお知らせください(別途文書を配信します)。また、私学フェス・私学のつどいや街頭署名がどこでも「3年ぶり」に取り組まれています。いずれも生徒や父母の参加で運動が大きく前進し、携わった人が元気になるということです。こちらの報告もぜひお願いします。



署名の集約にはお互いに声をかけあうことが欠かせません。**せっかく学内配布が広がっても、配ってそのままにしている署名は増えず、運動になっていきません。**報告・回収の体制を構築することが大切ですが、それが難しくても小まめな声かけは(それだって大変なことですが)たやすさやっつけていきましょう。昨年度、神奈川では、最終盤で単組から集約が上がってこないのを連絡を入れてみたら数千筆もあったことが判明し、これは無駄にするわけにはいかないと急いで受け取りに向いた、ということがありました。

すべての県の中間集約を束ねて、それを弾みにして11月本番を意気高く迎えましょう。